

「KJSでの多様な出会いが 私の仕事の原点です。」

KJS（高雄日本人学校）では、課外授業や台湾・日本の季節のイベントなど行事が多く、非常に充実した学生生活を送りました。

クラスは少人数で、出会いや別れが頻繁にある環境でしたが、現地校との交流を通じて、多くの人と出会う機会に恵まれました。

異文化に触れ、さまざまな人々と出会った経験が忘れられず、大学卒業後は航空会社で客室乗務員として勤務することになりました。
現在はパーソナルカラーアナリストとして、お客様に似合う色を提案する仕事をしています。色彩を学ぶ中で、まず思ったのは、その知識を日本人学校に通う子供たち、特にKJSの子供たちに伝えたいということでした。

自分に似合う色を身に着けることは、第一印象を良くし、周囲からの受け入れがスムーズになるということです。そして、周りから「似合う」と褒められる機会が増えれば、自信が生まれ、結果的に自己肯定感が高まります。

日本人学校に通うお子さんたちの中には、転校が多い子もいることでしょう。社交的だと自負している私でも、新しい環境に飛び込むときには、少なからずプレッシャーを感じていました。だからこそ、そのプレッシャーを少しでも和らげ、どんな環境でもありのままの自分を好きになれるお手伝いをしたいと思い、今回講演をさせていただきました。

在校生の皆さんへ

KJSでの経験は、日本ではなかなかできないことばかりです。それは、きっと皆さんも感じていることでしょう。
しかし、全力で取り組み、全力で悩み、全力で喧嘩し、そして全力で自分の「好き」を貫ける環境は、KJSだからこそできるものだと思います。
それは、全力で向き合ってくれる先生方や保護者の方々がいるからこそです。大人になり、私自身も親になった今、改めてKJSの素晴らしさが分かりました。
迷ったときや、何か分からないことがあったときは、全力で「分からない」とぶつけてみてください。必ず一緒に考えてくれる人がいます。
加油！！



成相佳林
(Zahra Color Education 代表)
在籍：小5～中3
(Jan. 1999～Mar. 2003)



自分を知ることの大切さ

～卒業生・成相さんからお話を聞きました！～

9月5日の総合学習の時間にて、本校卒業生の成相さんから、「カラフルな世界への招待～似合う色を知ろう～」と題して、授業をしていただきました。パーソナルカラー診断士の成相さんから「自分を知ること、自分らしさ」についてお話をいただきました。

相手に送りたい言葉を伝える「言葉のギフト」の実践では、ペアのクラスメイトからの言葉に笑顔になる様子や、意外な言葉掛けにおどろく様子も見られました。その他にもたくさんのお話を聞くことができました。笑顔で楽しくお話を聞いたり、実践にチャレンジしたりする様子を見て、たくさんの発見のある授業になりました。一緒に学校生活をおくる仲間に対しての言葉かけ、自分自身を客観的に考えることは、学校生活の様々な場面に生かされます。ぜひ、今回の授業で学んだことをこれからの学校生活に生かしていくことができるよう見守っていきたいと思います。



ゲストティーチャー

成相さん(本校卒業生)

相手に似合う言葉を送る

「言葉のギフト」は様々な結果に！



相手に似合う色は何か自分たちで考えました！